

Canto[®]

Cumulus[®]

Browser マニュアル

Windows / Macintosh 版

Copyright 1997, Canto Software, Inc. All rights reserved.

Canto、Canto のロゴ、Cumulus のロゴ、Cumulus は、Canto Software, Inc. の登録商標です。Cumulus Browser および Cumulus Internet Media Server (CIMS) は、Canto Software, Inc. の商標です。

Apple および Macintosh は、Apple Computer Inc. の登録商標です。Microsoft、Windows、WindowsNT は、米国 Microsoft Coporation の登録商標です。このマニュアルに記載されている他のサードパーティの製品名および企業名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

制作

Canto Software

日本語版製作

シーアールシーシステム株式会社 事業開発部

1998年2月

目次

第1章	はじめに	7
	概要	7
	このマニュアルについて	8
	オンラインヘルプの使用	8
第2章	Cumulus をインストールする	11
	システム	11
	Windows 版 Cumulus Browser	14
	Macintosh 版 Cumulus Browser	16
第3章	Cumulus Browser でカタログを 使用する	25
	概要	25
	Cumulus を起動してカタログを開く	26
	Cumulus アプリケーションウィンドウ	27
	ツールバーの使用	28
	カタログウィンドウについて	31
	レコードウィンドウの使用	32
	ステータスバーの使用	37
	カテゴリリストウィンドウの使用	39
	レコードの検索	41
	情報の印刷	52

第4章	Cumulus Browser を デモ版と して使用する	59
	カタログの新規作成	60
	カタログを開く	61
	ファイルのカタログ	62
	レコードウインドウについて	64
	カテゴリ	66
	検索する	71
	他のアプリケーションとの連携	86
	用語集	89

第 1 章

はじめに

ここでは、*Cumulus Browser* について簡単に説明します。

メディアファイル管理における *Cumulus* のはたらき

オンラインヘルプの使用方法

はじめに

目次

概要	7
このマニュアルについて	8
オンラインヘルプの使用	8

概要

Cumulusは、デジタルメディア・ファイルのクライアント/サーバ環境における編成、管理を目的として設計された究極のメディア管理システムです。

Cumulusは、グラフィック、ページ・レイアウト、プレゼンテーション、サウンド、ビデオ・ファイルなど、様々な形式のデジタルメディアを、仮想的に編成したり、追跡、プレビュー、コピー、移動、注釈、アーカイブできるため、デジタルならびにメディアのプロのニーズにも応えることができます。つまり、情報の管理や制御を通じてデジタルメディアをメディア・ファイルに変化させるのです。また、ファイルを効率良く追跡、配置、検索できるため、クオリティの向上をはじめワークフローの改善を実現できるため、個々のユーザだけでなく、企業全体の貴重な時間や費用を削減するツールでもあります。

Cumulus Browser は、Cumulus カタログをブラウズするためのアプリケーションです。製品版のCumulusで作成したカタログおよびオリジナルファイルを、CD-ROMやMO等のオフラインメディアに保存し、社内に配布、またはCDタイトルとして製品化したいとき、Cumulus Browser を一緒に入れることで、Cumulusを持っていない方にもカタログを見ることができるようになります。Cumulus Browser は、ロイヤリティフリーのプログラムで、配布にあたって特に使用料はかかりません。

Cumulus Browser は、製品版の DesktopPLUS の全機能を備えています。ただし、以下の制限があります。

作成する新規カタログには、最高50件までしかレコードを保管できません。

一度に2つのカタログしか同時に開くことができません。

DesktopPLUS、Network で作成した、50 件をこえる件数を持つカタログは、ロックがかかった状態で開きます。

このマニュアルについて

このマニュアルでは、Cumulus Browser のインストールならびに使用方法について詳しく説明します。

覚えておきたい統一用語

本書では次の用語を統一して使用します。



ヒント：統一用語のそれぞれの定義については、89 ページ「用語集」を参照してください。

デジタルメディアファイル、メディアファイル：ともにプロジェクトで使用し、Cumulus が管理する実際の電子ファイル(例：イメージ、グラフィック、ページレイアウト、プレゼンテーション、サウンド、ビデオファイル)

レコード：デジタルメディアファイル(ファイル)がカタログに登録されたときにCumulus が作成するファイルの情報カード。

ユーザサポートについて

Cumulus 開発元 Canto Software、および Canto Software 日本総代理店シーアールシーシステム株式会社では、ロイヤリティフリーで配布される Cumulus Browser に対するサポートは一切行っておりません。

オンラインヘルプの使用

Windows 版の Cumulus Browser は、操作方法および用語に関する情報を提供する、詳細なオンラインヘルプシステムを装備しています。ヘルプの項目を参照するには、[ヘルプ]メニューから[目次]を選択します。ヘルプの項目のリストが表示されます。

用語に関するヘルプを有効にするには、以下の手順に従います。

1. 情報を表示するオプションをクリックします。
2. F1 を押します。

第2章

Cumulus をインストール する

ここでは、Cumulusのインストールおよびセットアップ手順について説明します。

Cumulus Browser のシステム必要条件

Cumulus Browser のインストール手順

Cumulus をインストールする

目次

システム	11
Windows 版 Cumulus Browser	14
Macintosh 版 Cumulus Browser	16

システム

Cumulus Browser は Windows 95、Windows NT 4.0、Macintosh 環境で動作するため、フルプロダクトバージョンと同じシステム必要条件を必要としています。

問題を生じさせないため、Canto では Cumulus Browser を動作させるための最低および推奨要件を以下のように規定しています。

最低必要条件

以下は、Cumulus Browser を Windows と Macintosh 両方の環境でインストール、起動するためのシステムの最低必要条件です。

Windows 95 最低必要条件

486/66 MHz IBM PC、または Microsoft Windows 95 を起動できる互換機（読み込み専用のクライアントでカタログしない場合は 486/33 MHz 以上）

640 × 480 VGA 256 色ビデオ・サポート

12 MB RAM

14 MB の有効 HD スペース

CD-ROM ドライブ

Windows NT 4.0 最低必要条件

Pentium 90 MHz IBM PC、または Windows NT 4.0 のワークステーションもしくはサーバを起動できる互換機

640 × 480 VGA 256 色ビデオサポート

16 MB RAM

14 MB の有効 HD スペース

CD-ROM ドライブ

Macintosh 最低必要条件

Mac OS (漢字 Talk7.1 以降) を起動できる互換機 (モトローラ 68030 以降)

2.5MB RAM

10MB の有効 HD スペース

CD-ROM ドライブ

推奨環境

以下は、Cumulus Browser を Windows、Macintosh 両方の環境でインストール、起動するためのシステムの推奨環境です。

Windows 95 推奨要件

Pentium 133 MHz IBM PC、または Microsoft Windows 95 を起動できる互換機

600 × 800 VGA 256 色ビデオサポート

16 MB RAM

14 MB の有効 HD スペース

CD-ROM ドライブ

Windows NT 4.0 推奨要件

Pentium 133 MHz IBM PC、または Windows NT 4.0 を起動できる互換機

600 × 800 VGA 256 色ビデオサポート

32 MB RAM

14 MB の有効 HD スペース

CD-ROM ドライブ

Macintosh 推奨要件

Mac OS (漢字 Talk7.1 以降) を起動できる互換機

6MB RAM

10MB の有効 HD スペース

CD-ROM ドライブ

Windows 版 Cumulus Browser

インストール手順

1. CD-ROM ドライブに Cumulus の CD-ROM ディスクを入れます。

¥Cumulus¥Browser フォルダにある [Setup.exe] をダブルクリックしてください。

Cumulus Desktop PLUS をインストールする場合は、¥Comulus¥Dt_plus フォルダで [Setup.exe] をダブルクリックしてください。

2. Welcome 画面が表示されたら、[次へ] をクリックして次に進みます。

ライセンス契約に関する画面が表示されます。

3. 表示されているライセンス規約に従う場合は[はい]、従わない場合は[いいえ]をクリックしてください。

4. セットアップオプションを1つ選択してください。

標準: この項目をチェックすると、もっとも汎用性の高いオプションがインストールされます。

コンパクト: この項目をチェックすると、最低限のオプションのみインストールされます。

カスタム: この項目をチェックすると、インストールするオプションをユーザが選択できます。

5. インストール先ディレクトリの下のパスを確認します。

省略時のパスを使用する場合は[次へ]をクリックしてください。

別のパスを選択する場合は、[参照]をクリックし、新規パスを入力してOKをクリックしてください。

6. 表示された設定内容を確認してから、[次へ]をクリックしてください。

7. [プログラムフォルダの選択]ウィンドウが表示されます。

ここでは、Cumulus Browserを保存するディレクトリを指定します。

8. デフォルトのフォルダを指定する場合は[次へ]をクリックしてください。別のフォルダを選択する場合は、新規フォルダ名を入力するか、既存のフォルダ名をリストから選択し、[次へ]をクリックしてください。
9. 表示された設定内容を確認してから、[次へ]をクリックしてください。

セットアップが開始され、ファイルがコピーされます。

10. Setup Complete ウィンドウが表示されたら、[終了]をクリックしてください。

Macintosh 版 Cumulus Browser

ここでは、Cumulus Browser および関連ファイルを、ご使用の Macintosh にインストールする方法を説明します。

インストール手順

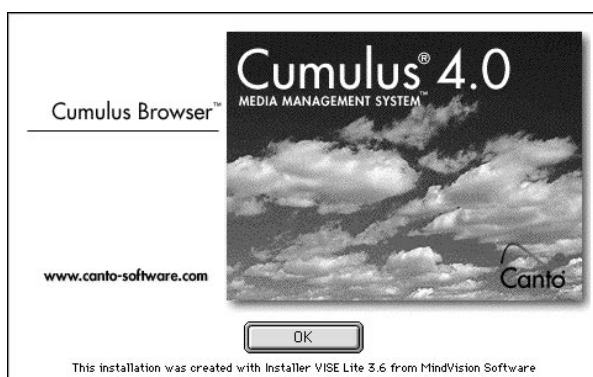
Cumulus はインストーラを使用して、必要なファイルをインストールします。

1. Cumulus の CD-ROM を、CD-ROM ドライブに入れてください。
2. [Cumulus] フォルダ内の [Browser J-4.0 インストーラ] をダブルクリックしてください。

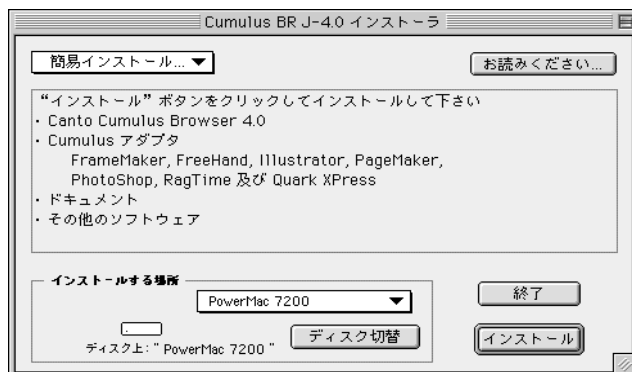


Cumulus BR J-4.0 インストーラ

3. 最初に、Cumulus の使用許諾書に関する文章が現れます。内容に同意いただく方は、[同意する] をクリックしてください。次に、インストーラのタイトル画面が現れるので、[OK] をクリックしてください。



4. インストール画面が現れます。



インストールには次の2通りの方法があります。

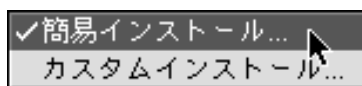
簡易インストール

簡易インストールは、Cumulusを使用するために必要なファイルをすべて自動的にインストールします。

カスタムインストール

カスタムインストールは、インストールするファイルを選択することができます。インストール画面にリスト表示されるファイルの中で、必要なファイルだけを選択してインストールしてください。

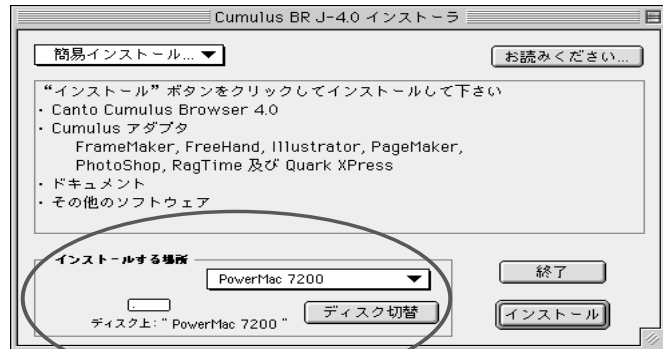
インストール方法の切り替えは、画面左上にあるポップアップメニューから選択してください。



カスタムインストールの場合は、インストールするファイル名のチェックボックスをチェックしてください。

各項目の後ろにある[I]ボタンをクリックすると、その内容説明と、インストールに必要な容量が表示されます。

5. インストール方法を決定したら、次にインストール先を指定します。インストール画面左下の[インストールする場所]で設定します。



[カスタムインストール画面]の[インストールする場所]

デフォルトでは、起動ディスクが表示されています。この状態でインストールを行うと、ディスクの第1階層（ディスクを開いたときに現れるウインドウ内）にフォルダを作成し、Cumulus ファイルをインストールします。接続している別のディスクにインストールする場合は、[ディスク切替]ボタンをクリックするか、その上にあるポップアップメニューからディスク名を選択してください。

ディスク内の任意のフォルダ内にインストールする場合は、ポップアップメニューの[フォルダ選択]を選択して、インストール先のフォルダを指定してください。



インストールされるファイル（フォルダ）について

インストーラでは、次に示すファイルまたはフォルダをインストールします。

Cumulus Browser

この項目をチェックすると、Cumulus Browser およびすべてのファイルフィルタ、リゾルバフォルダ、スクリプトフォルダをインストールします。

ドキュメント

Cumulus Browser、リゾルバ、アダプタ（プラグイン）およびフィルタに関する説明書類をインストールします。ファイルフィルタのオプション設定、およびアダプタのインストール方法に関する内容が記述されています。

アダプタ

各アプリケーションのプラグインアダプタをインストールします。アダプタはアプリケーションによってインストールする場所が異なります。

スクリプト

Cumulus Browser の機能を自動化するためのスクリプトが入っています。AppleScript で作成したスクリプトをこのフォルダに入れると、Cumulus Browser の起動時の[スクリプト]メニューにそのスクリプト名が表示され、直接実行することができます。

その他のスクリプト

Cumulus をファイルメーカー、QuarkXPress, Explorer, Netscape, Quicktake カメラと連携させるスクリプト等、便利なサンプルスクリプトをインストールします。

FilterGenerator

ファイルフィルタ作成ツール FilterGenerator をインストールします。このアプリケーションは、Cumulus が標準で対応していないファイル形式をカタログ可能にするためのフィルタファイルを作成します。

その他のフィルタ / アダプタ

MiniCAD、Graphisoft 用のプラグイン、および、標準でサポートしていないその他のファイル形式のフィルタが入っています。

サンプル

サンプルの画像ファイルを入れたフォルダをインストールします。

- すべての設定が終了したら、[インストール]ボタンをクリックしてください。

インストール作業が始まります。



- [アダプタ]フォルダ内の各アダプタは、インストール先がそれぞれ異なります。アダプタのインストール先は以下を参照して下さい。

Adobe Photoshop 2.0および2.5 : Photoshopの[Plugin]フォルダ

Adobe Photoshop 3.0以降 : Photoshopの[プラグイン]フォルダ内の[入出力]フォルダ

Adobe Illustrator 5.0 以降 : Illustrator の[プラグイン]フォルダ

Adobe PageMaker 5.0:[Aldus]フォルダ内の[Japanese]フォルダ内の[Additions]フォルダ

Adobe PageMaker 6.0:[RSRC]フォルダ内の[Plugins]フォルダ

Macromedia FreeHand 5.5 : [Xtra]フォルダ

RagTime : [B&E]フォルダ内の[Scan]フォルダ

FrameMaker : [Modules]フォルダ内

QuarkXPress : [XTension]フォルダ内

以上でインストール作業は終わりです。

* MiniCad および Graphisoft ユーザの方へ

MiniCad、Graphisoftをご使用になる方は、インストールされたフォルダ内の、[その他のフィルタ/アダプタ]フォルダをご覧ください。必要なフィルタファイル、プラグインがへ入っています。

第 3 章

Cumulus Browser で カタログを使用する

Cumulus Browser を使って、カタログを使用する方法について説明します。また各種ウィンドウについても説明します。

Cumulus を起動してカタログを開く方法

Cumulus ツールバーの目的と用途

Cumulus アプリケーションウィンドウ、カタログウィンドウ、レコードウィンドウ、カテゴリリストウィンドウ、ステータスバーの目的と用途

単一または複合検索クエリの構築法

後で使用できるように検索を保存する方法

情報を印刷する方法

Cumulus Browser でカタログを使用する

目次

概要	25
Cumulus を起動してカタログを開く	26
Cumulus アプリケーションウィンドウ	27
ツールバーの使用	28
カタログウィンドウについて	31
レコードウィンドウの使用	32
ステータスバーの使用	37
カテゴリリストウィンドウの使用	39
レコードの検索	41
情報の印刷	52

概要

Cumulus は、メディアファイルの整理、追跡、アクセス、保管を必要とするユーザを対象に設計されています。グラフィックス、出版、マルチメディアの分野では、メディアファイル(またはファイル)という用語は、プロジェクト内で使用されるオリジナルファイルを意味します。オリジナルファイルとして、イメージ、グラフィック、ページレイアウト、サウンド、ビデオファイルなど、実質的にすべての種類のデジタルファイルを使用することができます。Cumulus を使用すれば、オリジナルファイルの整理やアクセスを簡単に行うことができます。最初に理解する必要があるのは、いくつかの基本的な概念だけです。

Cumulus は、カタログと呼ばれるファイルを作成します。メディアファイルをカタログに登録すると、レコードと呼ばれる特別なエントリを作成します。そして、カタログ内のレコードを効率よく管理したり、検索を簡単にするために、レコードを編成 / 分類する機能を備えています。これをカテゴリと呼びます。

カタログされたファイルは、サムネイルまたはリスト形式で表示することができます。各レコードには、ファイル名、保存場所、ファイル形式、ファイルサイズ、作成日 / 修正日、縦 / 横のサイズなどの、ファイルに関する検索可能な重要情報が保存されています。

特筆すべき機能として、マウスでクリックするだけでレコードの検索を行うことができます。また、見つけようとしているレコードを特定した後は、オリジナルファイルのプレビューの表示、コピー、別の場所への移動を行うことができます。

なおこの章では、Windows 版の Cumulus Browser を中心に説明して行きます。

Cumulus の起動

アプリケーションウィンドウの構成について

カタログウィンドウ(カタログウィンドウとカテゴリリストウィンドウ)の操作と用途

Cumulus を起動してカタログを開く

Cumulus を起動してカタログを開くには

1. [スタート] ボタンをクリックして [プログラム] をポイントし、[Cumulus]、[Cumulus Browser] の順に選択してください。

Cumulus Browser が起動されます。Cumulus を初めて起動した場合は、[カタログを開く] ダイアログ・ボックスが表示されます。

2. [カタログを開く] ダイアログボックスが表示されない場合は、ファイルメニューの [開く] をクリックしてください。
3. ダイアログボックス内の [ファイルの場所] の欄に目的のカタログのディレクトリを入力し、[開く] をクリックしてください。キャンセルするには、[キャンセル] をクリックしてください。

Cumulus アプリケーションウィンドウ

Cumulus アプリケーションウィンドウには、ファイルをカタログしたり分類するために必要なすべてのコマンド、オプション、ウィンドウが含まれています。ウィンドウのオプションのいくつか(ほとんどのツールバーボタン、検索ツールバー、ステータスバー)は、カタログファイルが読み込まれているときにだけアクティブになります。

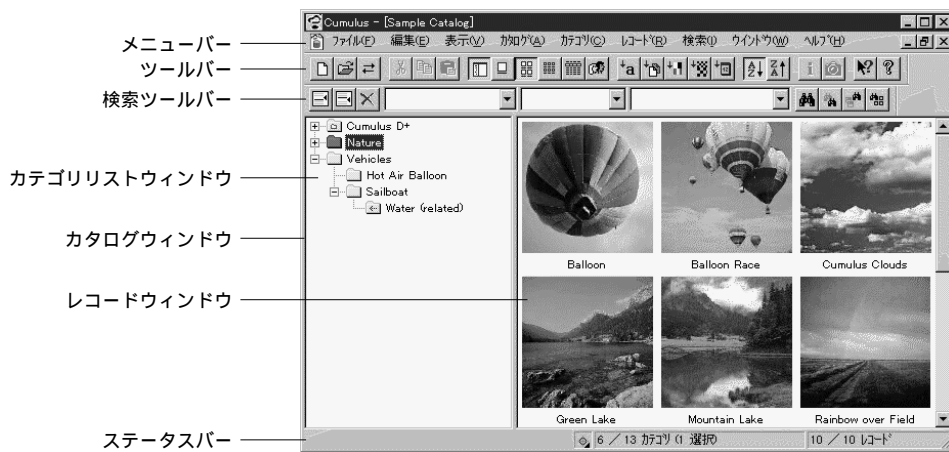


図 1. Cumulus アプリケーションウィンドウ

Cumulus アプリケーションウィンドウには、ファイルをカタログしたり分類するために必要なすべてのコマンド、オプション、ウィンドウが含まれています。ウィンドウのオプションのいくつか(ほとんどのツールバーボタン、検索ツールバー、ステータスバー)は、カタログファイルが読み込まれているときにだけアクティブになります。

ツールバーの使用

ツールバーのボタンを使用すれば、よく使用するコマンドやオプションをすばやく簡単に利用できます。カーソルをツールバーのボタンの上に移動すると、そのボタンの機能を説明するツールチップが表示されます。

ツールバーは、Cumulus アプリケーションウィンドウの上側、下側、左側、右側のいずれかに配置するか、独立したフローティングウィンドウにするかを選択できます。ツールバーを移動するには、枠を選択して上下左右のいずれかの場所にドラッグします。一時的にツールバーを非表示にするには、[表示]メニューの [ツールバー] のチェックマークを外します。

表2は、ツールバーの各ボタンの機能を説明しています。



ヒント：ツールチップは、コマンドおよびボタンの簡単な説明を表示する、小さなフローティングウィンドウです。

表2. ツールバーのボタンの機能








ツールバーのボタン	説明
	新しいカタログを作成します。
	既存のカタログを開きます。
	Cumulus サーバ (Cumulus Network J-4.0) に接続します。
	選択部分を切り取り、クリップボードにコピーします。
	選択部分をクリップボードにコピーします。
	選択部分にクリップボードの内容を挿入します。
	カテゴリリストウィンドウを表示または非表示します。

表2. ツールバーのボタンの機能 (続き)















ツールバーのボタン	説 明
	サムネイルモード192 x192を使用してファイルを表示します。
	サムネイルモード128 x128を使用してファイルを表示します。
	サムネイルモード96 x96を使用してファイルを表示します。
	各ファイルに関する詳細 (レコード名、ファイル形式、画像モード、解像度、修正日) を表示します。
	レコード名を基準にしてカタログをソートします。
	ファイル形式を基準にしてカタログをソートします。
	ファイルの画像モードを基準にしてカタログをソートします。
	ファイルの解像度を基準にしてカタログをソートします。
	レコードの修正日を基準にしてカタログをソートします。
	カタログを昇順 (A ~ Z) にソートします。

表2. ツールバーのボタンの機能 (続き)

ツールバーのボタン	説 明
	カタログを降順 (Z ~ A) にソートします
	[レコードプロパティ] ウィンドウを表示します。
	カタログしたファイルのプレビューを表示します。
	ヘルプの項目を表示します。

カタログウィンドウについて

Cumulusカタログを開くと、以下のようなカタログウィンドウが表示されます。

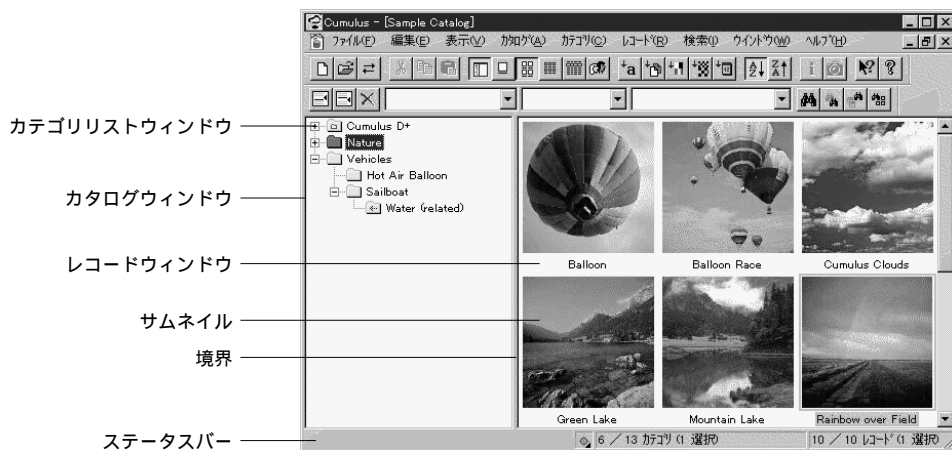


図3. カタログウィンドウ

カタログウィンドウは、2つの部分で構成されます。

カテゴリリストウィンドウ

レコードウィンドウ

ファイルをカタログすると、レコードという特別なエントリがカタログに追加されます。各レコードには、オリジナルファイルの名前、保存場所、ファイル形式などの、オリジナルファイルに関する検索の基本になる情報が保存されています。レコードは、カテゴリ機能を使って、分類することができます。レコードウィンドウの左側をカテゴリリストウィンドウと呼びます。ここでは、現在のカタログのすべてのカテゴリが表示されます。

SHIFT キーを押しながら TAB キーを押すと、アクティブな部分を切り替えることができます。またカタログウィンドウの中央にある境界を選択して、各部分のサイズを変更することができます。ウィンドウ全体のサイズを変更するには、ウィンドウの境界をドラッグするか、タイトルバーにある最小化、最大化、復元のボタンを使用します。

レコードウィンドウの使用

レコードウィンドウには、現在のカタログに含まれるレコードが表示されます。デフォルトでは、レコードはサムネイルとして表示されます。各レコードには、元のファイルに関する情報が保存されています。デフォルトでは、サムネイルの真下にレコード名が表示されます。最大で63文字（日本語の場合は32文字まで）のレコード名を使用することができます。

レコードウィンドウ上でレコードの詳細を表示するには、カーソルをサムネイルの上に移動します。レコード名、ファイル形式、画像モード、解像度、修正日を示す[詳細]ウィンドウが表示されます。

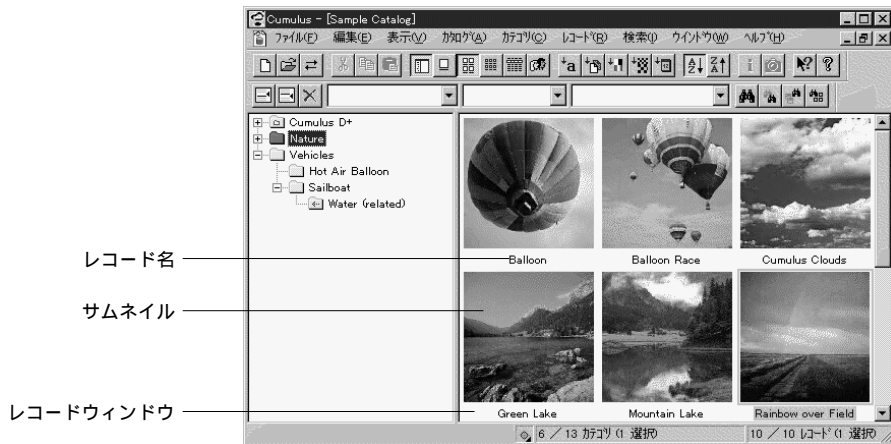


図4. レコードウィンドウ

サムネイル表示を見やすくする

サムネイルの表示が暗すぎる、明るすぎる、あるいはコントラストが低すぎる場合は、[レコード]メニューの[サムネイルを鮮明に]を選択して、表示を修正することができます。

レコードプロパティの表示

Cumulus は、[レコードプロパティ] ウィンドウという特別なウィンドウにレコードの情報を表示します。レコードのプロパティを表示するには、レコードを選択して、[レコード] メニューの[プロパティ] を選択します。[レコードプロパティ] ウィンドウが表示されます。



図 5. [レコードプロパティ] ウィンドウ

[レコードプロパティ] ウィンドウは、3つのタブ([レコード] [ノート] [オリジナル]) で構成されます。これらのタブには、ファイルに関する以下のようなさまざまな情報が表示されま

す。

レコード名 (カタログ時に付けた名前)

カタログ時に取得したオリジナルファイル自身が持つ情報 (ファイルの場所、ファイル名、ファイル形式、作成プログラム、サイズ、作成日、修正日、解像度など)

レコードウィンドウの表示オプションを設定する

デフォルトでは、レコードウィンドウではレコードがサムネイルで表示されます。ただし、[表示]メニューのオプションを選択して、レコードの表示方法を変更することができます。表6に、レコードウィンドウの表示方法を示します。

表6. レコード表示オプション

表示方法	操 作
レコードを192×192ピクセルのサムネイルで表示する	[表示]メニューから[サムネイルモード 192×192]を選択します。
レコードを128×128ピクセルのサムネイルで表示する	[表示]メニューから[サムネイルモード 128×128]を選択します。
レコードを96×96ピクセルのサムネイルで表示する	[表示]メニューから[サムネイルモード 96×96]を選択します。
レコードの詳細をテキストで表示する	[表示]メニューから[リストモード]を選択します。

リストモード(図7)では、レコード名、ファイル形式、画像モード、解像度、修正日の順に表形式でレコードが表示されます。列のタイトルの間にある境界を調整して、各列の幅を変更することができます。

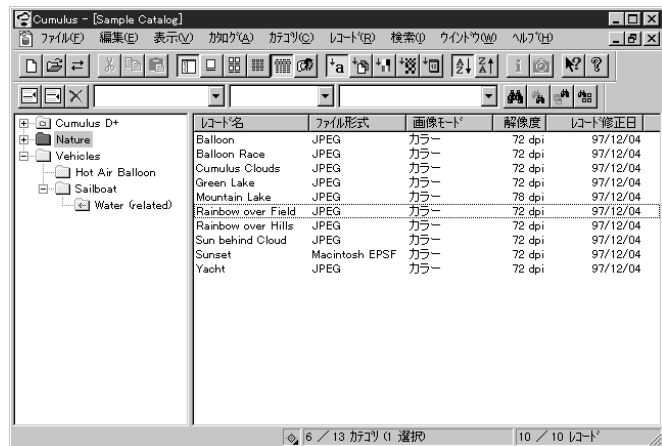


図7. レコードウィンドウのリストモード

[レコード] ポップアップメニューの表示

カーソルをレコードのサムネイルまたはテキストエントリの上に移動して、右マウスボタンをクリックすると、[レコード] ポップアップメニュー（図8）を表示することができます。このメニューの使用方法は、このマニュアルの後半で説明します（40ページの「[レコード] ポップアップメニューの表示」参照）。



図 8. [レコード] ポップアップメニュー

レコードのソート

Cumulus では、以下の方法でレコードをソートできます。

レコード情報の項目を基準にソート

昇順または降順でソート

レコード情報の項目を基準にしてソートする

レコードには、ファイルに関する多くの情報が含まれています。[表示] オプションを選択して、以下の項目を基準にしてソートすることができます。

レコード名

ファイル形式

解像度

画像モード

修正日

項目を基準にしてレコードをソートするには、以下の手順に従います。

1. [表示] メニューから [カタログをソート] を選択します。
2. [カタログをソート] のサブメニューから、レコードの項目 (レコード名、ファイル形式、解像度、画像モード、修正日) のいずれかを選択します。

新しい順序でレコードが表示されます。

昇順又は降順を切りかえる

この方法では、選択されているソート基準により、昇順または降順でレコードが表示されます。

1. [表示] メニューから [ソート順] を選択します。
2. サブメニューから [昇順] または [降順] を選択します。

新しい順序でレコードが表示されます。



ヒント：ツールバーボタンを使用してレコードをソートすることもできます。使用可能なツールバーボタンのリストは、33 ページの「ツールバーの使用」を参照してください。

ステータスバーの使用

ステータスバー（図9）は、Cumulus アプリケーションウィンドウの下部に表示されます。ステータスバーには、アクティブなカタログに関する以下のような情報が表示されます。

ツールバーボタンの説明

検索コンパスアイコン

カテゴリステータス

レコードステータス

ロックアイコン

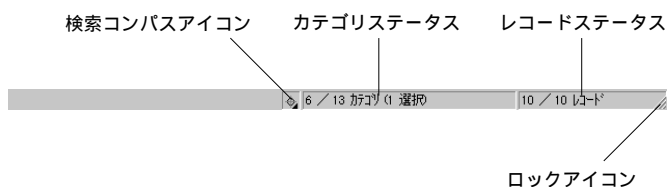


図9. ステータスバー

ステータスバーの左端には、ツールバーボタンの説明が表示されます。説明を表示するには、ツールバーボタンの上にカーソルを移動します。

その横には、検索コンパスが表示されます。このアイコンをクリックすると、

アプリケーション環境設定ウィンドウを表示され、カテゴリ検索の設定ができます。

カテゴリステータスフィールドには、カテゴリリストウィンドウに表示されているカテゴリの個数と、現在のカタログに含まれるカテゴリの総数が表示されます。たとえば、[19/105 (1 選択)] は以下のような意味になります。

カタログウィンドウに 19 個のカテゴリが表示されている

現在のカタログに合計 105 個のカテゴリが含まれている

1 個のカテゴリが選択されている

レコードステータスフィールドには、現在のカタログで検索されたレコード数とレコードの総数が表示されます。検索後は、検索条件に一致したレコード数が表示され便利です。

たとえば、[25/1173(1選択)]は以下のような意味になります。

25 個のレコードが検索条件に一致した

現在のカタログに合計 1173 個のレコードがある

1 個のレコードが選択されている

ロックアイコン(ステータスバーの右端)は、カタログが読みとり専用モードであることを示します。

Cumulus Browser では、Network、または Desktop PLUS で作成した 50 件以上のレコードを持つカタログを開くと、ロックがかかります。

カテゴリリストウィンドウの使用

カタログウィンドウの左側を、カテゴリリストウィンドウと呼びます。カテゴリリストウィンドウには、現在のカタログに含まれるすべてのカテゴリが表示されます。ファイルをカタログすると、オリジナルファイルに関する重要情報を保存するレコードが作成されます。図 11 のように、レコードをカテゴリというキーワードを階層化したグループに分類することにより、レコードの整理をより効率的に行うことができます。



図 10. カテゴリリストウィンドウ

カテゴリは、基本的にはキーワードを拡張したものです。ファイルの整理にキーワードだけを使用するメディア管理システムとは異なり、以下のような利点があります。

キーワードと同様に、ファイルを説明する固有名をカテゴリに付けることができます。

ドラッグ&ドロップによる簡単な操作で、複数のレコードを、一つまたは複数のカテゴリ名の基に関連づけることができます。

カテゴリは検索が可能であるため、ファイルの取り出しが簡単になります。

キーワードと異なり、カテゴリは階層構造にすることができます。これにより、様々なカテゴリを秩序よく整理することができ、またカテゴリ間の関連を一覧で見ることができます。



ヒント：選択したカテゴリ内のレコードは、[カテゴリ]メニューから[カテゴリで検索]を選択して表示することもできます。

選択したカテゴリが登録されているレコードを表示するには、カテゴリをダブルクリックするか、カテゴリを選択してENTERキーを押します。カテゴリが階層構造にできるという利点は、論理上の直観的で使いやすい構造にレコードを整理することができる点です。Cumulus のユーザの多くは、多数の階層で構成されるカテゴリを数千個含むカタログを作成しています。

カテゴリリストウィンドウの操作

各カテゴリのフォルダの左にある+または-のボタンをクリックして、カテゴリの階層表示の有無を切り替えることができます。カテゴリを階層表示するには、カテゴリ名の左にある+ボタンをクリックします。カテゴリが階層表示されると、図12のように、+ボタンが-ボタンになります。



図11. カテゴリの階層表示

カーソルをカテゴリの上に移動して右マウスボタンをクリックすると、[カテゴリ]ポップアップメニューが表示されます。[カテゴリ]ポップアップメニューから、[カテゴリ]メニューのよく使用するオプションをすばやく利用することができます。

レコードの検索

Cumulus は、非常に柔軟なレコード検索方法を提供しています。検索の対象に応じて、検索ツールを使用することができます。レコードの検索には、2つの基本的な方法があります。

特定のカテゴリに一致するレコードを検索する

検索ツールバーを使用して、1つまたは複数の検索条件で構成される検索クエリで検索する

Cumulusの検索機能は強力で、特定の1つの方法に強制されたりすることはありません。直観的な方法で検索することができます。また、必要に応じて、さまざまな検索方法を使い分けることができます。

検索ツールバーの使用

Cumulus の検索ツールバーを使用して、1つまたは複数の検索条件で構成される検索クエリをすばやく簡単に作成することができます。デフォルトでは、検索ツールバーは、Cumulus アプリケーションウィンドウの上部にあるツールバーの真下に表示されます。



ヒント [表示]メニューから [検索ツールバー] を選択して、検索ツールバーを有効または無効にすることができます。

他のCumulusのツールバーと同様に、検索ツールバーはマウスを使用して簡単に移動することができます。

検索ツールバーは、3つの基本コンポーネントで構成されています。これらのコンポーネントを使用して、検索クエリを作成することができます。

検索条件ボタン

検索条件フィールド

検索ボタン

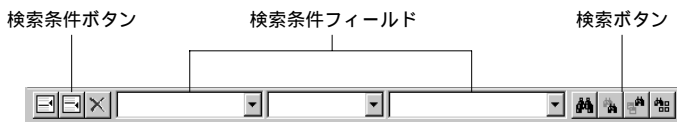


図 12. 検索ツールバーのコンポーネント

検索条件ボタン

検索ツールバーの左にある[条件を挿入][条件を追加][条件を削除]の各ボタンを使用して、検索条件を指定することができます。

[条件を削除]



図 13. 検索ツールバーのボタン

検索クエリに複数の条件が含まれる場合は、アクティブになっている検索条件の横に上のボタンが表示されます。[条件を挿入]または[条件を追加]をクリックすると、アクティブになっている検索条件の上または下に新しい条件が追加されます。[条件を削除]をクリックすると、アクティブになっている検索条件が削除されます。

検索条件フィールド

ウィンドウの中央には、検索条件を指定するための3つの検索条件フィールドがあります。

[検索項目]フィールドは、検索対象([レコード名][ファイル名][ファイル形式][画像モード]など)を指定します。

[検索演算子]フィールドは、検索形態([含む][始まる][一致する][異なる]など)を指定します。

[検索値]フィールドは、語全体またはその一部、数値、日付など検索する値を指定します。

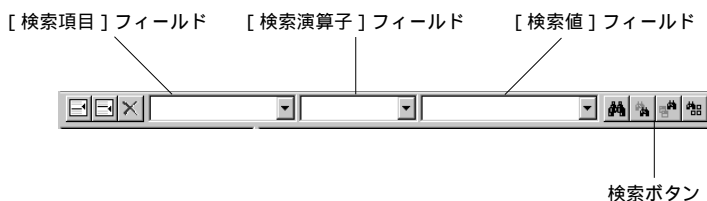






図 14. 検索条件フィールド

検索ボタン

検索ボタンは、検索ツールバーの右側に表示されます。これらのボタンのいずれかをクリックすると、検索が実行されます。表 15 に、各ボタンおよびその機能を示します。

表 15. 検索ボタンの機能

ボタン	機能
 [検索]	アクティブなカタログ中のすべてのレコードを検索します。
 [再検索]	現在表示されているレコードの中らしほり込み検索を行います。
 [すべてのカタログを検索]	開かれているすべてのカタログでレコードを検索します。
 [検索解除]	アクティブなカタログ中のすべてのレコードを表示します。

簡易検索クエリの指定

検索クエリ検索の指定方法は、検索対象により異なります。最初に、検索に必要な検索条件の数を決めます。検索には2種類あります。

簡易検索

複合検索

簡易検索

簡易検索（図 16）は、1つの検索条件で検索します。

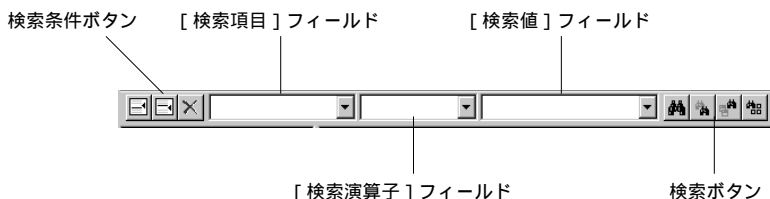


図 16. 簡易検索クエリ

簡易検索を実行するには以下の手順に従います。

1. 検索項目フィールドからレコード名、ファイル形式、カラーモードなどの検索項目を選びます。
2. 検索演算子フィールドから検索演算子を選択します。
3. 検索値フィールドに、検索に用いる語（もしくはその一部）数、日付などを入力します。
4. 適切な検索ボタン（検索、再検索、すべてのカタログ検索）をクリックします。

カタログウィンドウに、検索条件に一致するすべてのレコードが表示されます。

ステータスバーの右側にあるレコードステータスフィールドには、検索条件に合致したレコード数が表示されます。

たとえば、25 / 117（1 選択）とは

現在の検索条件に 25 件が合致する

現在のカタログには 117 件のレコードがある

1 件のレコードが現在選択されている

という意味です。

絞り込み検索を行うには、条件を設定後、再検索ボタンをクリックしてください。



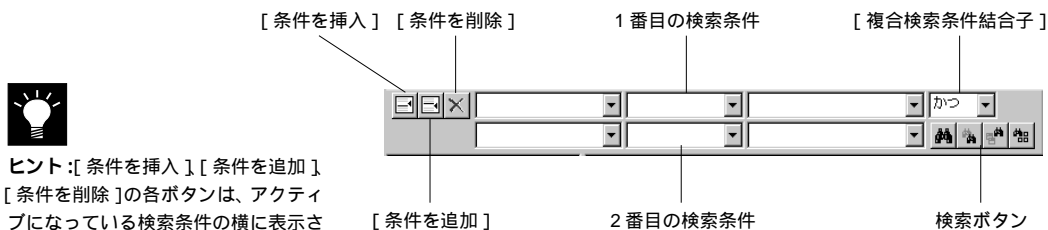
ヒント：選択フィールドをクリアするには、Delete をクリックしてください。



ヒント：レコードを値フィールドにドラッグすると、検索項目に対応するレコード情報を簡単に入力できます。

複合検索

複合検索（図 17）は、複数の検索条件を「かつ」「または」で組み合わせて検索する方法です。



ヒント: [条件を挿入] [条件を追加] [条件を削除] の各ボタンは、アクティブになっている検索条件の横に表示されます。

図 17. 複合検索の例

複合検索を指定するには、以下の手順に従います。

1. 検索に必要な検索条件の個数を決定します。

選択されている条件の上に検索条件を追加するには、[条件を挿入] をクリックします。

選択されている条件の下に検索条件を追加するには、[条件を追加] をクリックします。

検索条件を削除するには、任意の検索条件フィールドをクリックしてその条件を選択し、[条件を削除] をクリックします。

2. 1 番目の検索条件に対して、以下を実行します。

[検索項目] フィールドから検索対象 ([レコード名] [ファイル名] [ファイル形式] [画像モード] など) を選択します。

[検索演算子] フィールドから検索演算子を選択します。

[検索値] フィールドで、検索に用いる語（もしくはその一部）、数、日付けなどを入力します。



ヒント: レコードを [検索値] フィールドにドラッグすると、検索項目に対応したレコード情報をすばやく入力することができます。

3. [複合検索条件結合子]フィールドから[かつ]または[または]を選択します。

[かつ]を選択すると、両方の検索条件に一致するレコードだけが検索されます。

[または]を選択すると、いずれかの検索条件に一致するレコードが検索されます。[or]検索の方が検索対象が広く、通常は一致するレコード数が多くなります。

4. 次の検索条件に対して、以下を実行します。

[検索項目]フィールドから検索対象([レコード][名前][ファイル形式][画像モード]など)を選択します。

[検索演算子]フィールドから検索演算子を選択します。

[検索値]フィールドで、検索に用いる語(もしくはその一部)数、日付けなどを入力します。

5. すべての検索条件に対して、手順3および4を実行します。
6. 適切な検索ボタン([検索][再検索][すべてのカタログを検索][検索解除])をクリックします。

カタログウィンドウに、一致したすべてのレコードが表示されます。ステータスバーの右にあるレコードステータスフィールドには、検索条件に一致したレコード数が表示されます。たとえば、[25/117 (1選択)]は以下のような意味になります。

25個のレコードが検索条件に一致した

現在のカタログに合計117個のレコードが含まれている

1個のレコードが選択されている

検索クエリの例

Cumulus は、全文検索機能を提供しています。全文検索では、語全体またはその一部、数値、日付を、大文字小文字の区別なしに検索します。たとえば、r_s とすると for single が検索されます。

表 18 に、検索クエリ例の一覧を示します。

表 18. 検索クエリ例

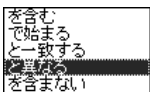


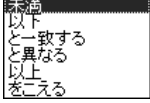
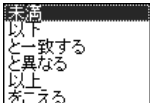


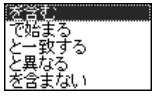
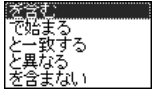
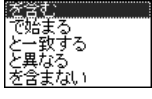
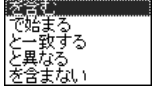


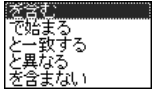
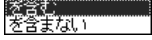
検索対象	使用する検索演算子	入力内容
レコード名		全文検索
ファイル形式		ポップアップリストからファイル形式を選択するか、キーボードで入力します。
画像モード		リストから [ラインアート]、[グレイスケール]、[カラー] のいずれかを選択します。
解像度		数値または解像度 (dpi) を入力します。
ファイルサイズ		バイト数を入力します。キロバイトはKBと入力します。メガバイトはMBと入力します。
レコードの修正日		オペレーティングシステムでの書式を使用して日付を入力します。
ファイルの作成日		オペレーティングシステムでの書式を使用して日付を入力します。

表 18. 検索クエリ例

検索対象	使用する検索演算子	入力内容
ボリューム名		語全体またはその一部を入力して、大文字小文字を区別しない全文検索を実行します。
ファイル名		語全体またはその一部を入力して、大文字小文字を区別しない全文検索を実行します。
フォルダ名		Windowsのエクスプローラで表示されるフォルダ名全体またはその一部を入力します（大文字小文字の区別はありません）。
ユーザ名		語全体またはその一部を入力して、大文字小文字を区別しない全文検索を実行します。
ステータス		リストからステータスを選択します。
サムネイル		サムネイルを [検索値] フィールドにドラッグ&ドロップして、明るさおよびコントラストを比較する類似検索を実行します。
カテゴリ		カテゴリ名を入力するか、カタログウィンドウからカテゴリまたはレコードをドラッグします。 重複するカテゴリ名がカテゴリ構成に含まれている場合は、名前を入力せずにカテゴリそのものをドラッグ&ドロップします。 アプリケーション設定で、カテゴリの検索方法を指定します。 詳細は、143ページの「アプリケーション設定の変更」を参照してください。
ノート		全文検索

検索クエリの保存

検索をより効率的に行うため、名前を検索クエリバーに入力し、[検索クエリを保存] をクリックして、検索クエリを保存することができます。デフォルトでは、検索クエリバーは無効になっています。検索クエリバーを有効にするには、[表示] メニューから [検索クエリバー] を選択します。検索クエリバーは、ツールバーの右側に表示されます。



図 19. 検索クエリバー

検索クエリの保存

アクティブになっている検索クエリを保存するには、以下の手順に従います。

1. 検索クエリバーで名前を入力し、[検索クエリを保存] をクリックします。

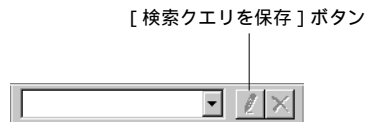


図 20. [検索クエリを保存] ボタン

2. 新しい検索クエリが検索クエリバーのリストに追加されます。

保存した検索クエリを使用する

保存した検索クエリを使用するには、以下の手順に従います。

1. 検索ツールバーで、検索条件フィールドをクリックして検索条件を選択します。
2. 検索クエリバーで、保存した検索クエリをリストから選択します。

その検索クエリが挿入されます。

保存した検索クエリを削除する

保存した検索クエリを削除するには、以下の手順に従います。

1. 検索クエリバーで、削除する検索クエリを選択します。
2. [検索クエリを削除] ボタンをクリックします。

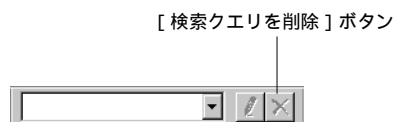


図 21. [検索クエリを削除] ボタン

そのクエリが削除され、検索クエリバーのリストから消去されます。

カテゴリ検索の設定について

カテゴリによる検索の場合、アプリケーション設定の [検索] タブで、さまざまな検索設定を行うことができます。[カテゴリ検索] で、以下のいずれかの検索方法を選択することができます。

[選択されたカテゴリのいずれかに該当する]

このオプションを選択すると、検索条件に含まれるカテゴリのうち少なくともいずれか1つに対応するレコードを検索します。

[選択されたカテゴリの全てに該当する]

このオプションを選択すると、検索条件に含まれるカテゴリすべてに対応するレコードを検索します。

[カテゴリ検索] では、カテゴリの検索方向([上位のカテゴリを検索] [上位のカテゴリを検索] のいずれかまたは両方)を指定することができます。

[エイリアスも探す] を有効にすると、カテゴリのエイリアスを検索することができます。

検索コンパスアイコンの使用

検索コンパスアイコン(図22)は、ステータスバーの中央に表示されます。このアイコンは、現在のカテゴリ検索設定に関する情報を示します。このアイコンをクリックすると、アプリケーション設定が表示されます。

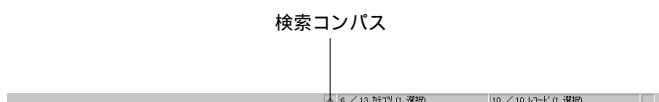


図 22. ステータスバー、検索コンパスアイコン

要求する検索結果が得られない場合は、現在有効になっている検索設定をこのアイコンで確認します。アイコンをクリックすると、[アプリケーション設定]ダイアログボックスをすばやく表示し、必要に応じて検索設定を変更することができます。

表 23 に、各設定とそれに対応するアイコン表示を示します。

表 23. 検索コンパスの意味

有効になっている検索設定	アイコン
[選択されたカテゴリのいずれかに該当する]	
[選択されたカテゴリの全てに該当する]	
[カテゴリ検索時の対象となる階層] [上位のカテゴリを検索]	
[カテゴリ検索時の対象となる階層] [上位のカテゴリを検索]	
[カテゴリのエイリアスも探す]	

情報の印刷

Cumulus には、さまざまな情報を印刷する機能があります。印刷コマンドは必ず [ファイル]メニューから選択しますが、実際に表示される印刷コマンドの名前は、印刷したい対象 (レコード、カテゴリ、ファイルのプレビュー) により異なります。

以下の節では、レコードおよびカテゴリ情報を印刷および印刷プレビュー表示する方法を説明します。

レコード情報の印刷

サムネイル、レコードの詳細、[レコードプロパティ] ウィンドウの内容といった、さまざまなレコード情報を印刷することができます。

レコード情報を印刷するには、以下の手順に従います。



ヒント：連続したレコードを選択するには、SHIFT キーを押しながら、選択する部分の最初と最後のレコードをクリックします。

1. 印刷するレコードを選択します。
2. [ファイル]メニューから[レコードを印刷]を選択します。
3. サブメニューから以下のいずれかを選択します。

[サムネイル小で印刷...] は、選択したレコードをサムネイル小で印刷します

[サムネイル中で印刷...] は、選択したレコードをサムネイル中で印刷します

[サムネイル大で印刷...] は、選択したレコードをサムネイル大で印刷します

[リスト形式で印刷...] は、レコード名、ファイル形式、画像モード、解像度、修正日を、見やすい表形式で印刷します

[レコード情報を印刷...] は、[レコードプロパティ] ウィンドウの内容を印刷します。

4. [印刷]ダイアログボックスで適切な選択を行い、[OK]をクリックします。

[レコードを印刷] プレビューオプション

[印刷プレビュー] により、選択部分を印刷前に表示することができます。

印刷前にレコード情報のプレビューを表示するには、以下の手順に従います。

1. [ファイル]メニューから[印刷プレビュー]を選択します。
2. サブメニューから以下のいずれかを選択します。

[サムネイル小で印刷...] は、レコードのプレビューをサムネイル小で表示します

[サムネイル中で印刷...] は、レコードのプレビューをサムネイル中で表示します

[サムネイル大で印刷...] は、レコードのプレビューをサムネイル大で表示します

[リスト形式で印刷...] は、レコードの詳細のプレビュー（レコード名、ファイル形式、画像モード、解像度、修正日）を表形式で表示します

[レコード情報を印刷...] は、[レコードプロパティ] ウィンドウの内容のプレビューを表示します。

[印刷プレビュー] ウィンドウが表示されます。



図 24. レコード情報の印刷プレビュー

3. ウィンドウの上部から適切なボタンを選択します。

[印刷] は、現在の表示を印刷します。

[次ページ] は、次のページにスクロールします。

[前ページ] は、前のページに戻ります。

[見開きで印刷] は、現在の表示を見開き形式で再描画します。

[ズームイン/ズームアウト] は、現在の表示の拡大率を変更します。

[閉じる] は、プレビューモードを終了します。

カテゴリ情報の印刷

カテゴリ情報を印刷するには、以下の手順に従います。

1. 印刷するカテゴリを選択します。
2. [ファイル]メニューから[カテゴリを印刷]を選択します。
3. [印刷]ダイアログボックスで適切な選択を行い、[OK]をクリックします。

カテゴリの印刷プレビューオプション

[印刷プレビュー]により、選択部分を印刷前に表示することができます。

印刷前にカテゴリのプレビューを表示するには、以下の手順に従います。

1. [ファイル]メニューから[カテゴリの印刷プレビュー]を選択します。

[プレビュー]ウィンドウが表示されます。

2. ウィンドウの上部から適切なボタンを選択します。

[印刷]は、現在の表示を印刷します。

[次ページ]は、次のページにスクロールします。

[前ページ]は、前のページに戻ります。

第4章

Cumulus Browser をデモ版として使用する

ここではCumulus Browserをデモ版として使用するための操作方法を説明します。なおここでは、Macintosh版を例に説明します。

Cumulus を起動してカタログを開く

Cumulus のメインウィンドウで作業する

カテゴリとステータスの作成および割り当て

カテゴリ、ステータスなどの検索基準によるファイルの検索

カタログへのファイルの追加

メディア・ファイルの展開と管理

Cumulus Browser をデモ版として使用する

目次

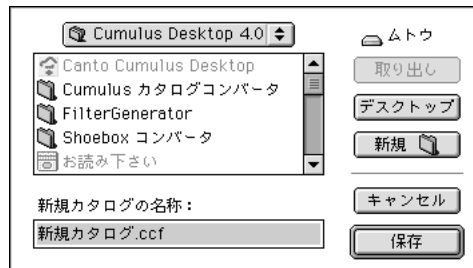
カタログの新規作成	60
カタログを開く	61
ファイルのカタログ	62
レコードウインドウについて	63
カテゴリ	66
カテゴリの登録	66
検索する	71
他のアプリケーションとの連携	86

カタログの新規作成

1. Cumulus アプリケーションを起動して、ファイルメニューから[新規...]を選んでください。



2. ダイアログが表示されるので、カタログの名前を入力して、[保存]をクリックしてください。



3. 新規のカタログが表示されます。

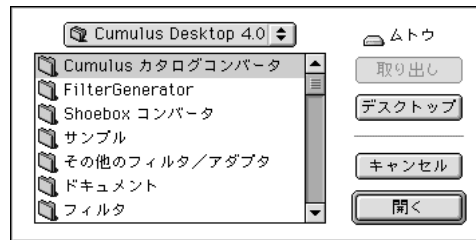


カタログを開く

1. ファイルメニューから[開く ...]を選んでください。



2. ダイアログが表示されるので、カタログを選択して、[開く]をクリックしてください。



3. 選択したカタログが開きます。

注意：Cumulus Browser で同時に開くことのできるカタログ数は2つまでです。

ファイルのカタログ

Cumulusカタログに、ファイルの情報を登録することを[カタログする]と呼びます。カタログ方法には次の2種類があります。

メニューからカタログする

1. ファイルメニューから[カタログする]を選択してください。



2. 次のようなダイアログが表示されます。

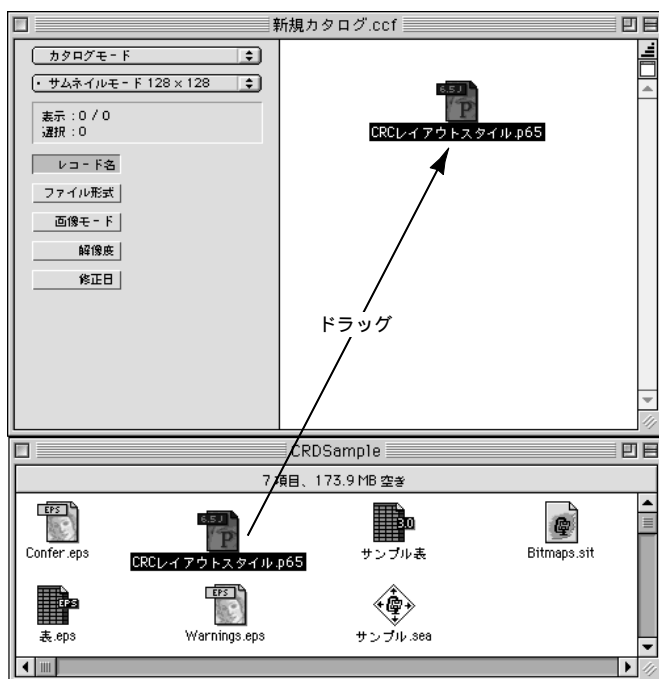


3. カタログしたいファイルを選んで、[カタログ]をクリックしてください。

同一フォルダまたはボリュームに入っている複数のファイルを一度にカタログするには、そのフォルダまたはボリュームを選択し、[カタログ]をクリックしてください。

ドラッグ & ドロップでカタログする

1. カタログしたいファイルまたはフォルダを Finder 上に表示します。
2. ファイルまたはフォルダをマウスで選択し、Cumulus のカタログウインドウ上にドラッグしてください。



3. カタログウインドウの内枠がグレーに反転したら、マウスボタンを離してください。

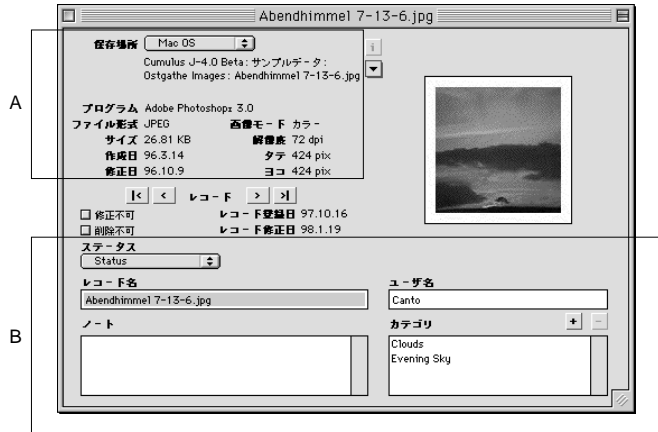
ドラッグ & ドロップ機能を使用するには、ご使用の Macintosh の Finder のバージョンが 7.1.2 以降で、ドラッグ & ドロップ機能拡張ファイルがインストールされている必要があります。

カタログ作業は、一見ファイルそのものをコピーするかのようには見えますが、実際は、各ファイル形式に対応した専用フィルタを通して必要な情報だけを Cumulus に取り込み、さらにオリジナルのファイルを元に、低解像度の小さな画面(サムネイル)を作成します。したがって、Cumulus はオリジナルの容量の大きさに関係なく、少ない容量でファイル情報の管理ができるのです。

レコードウィンドウについて

ファイルをカタログすると、[レコード]と呼ばれる情報カードが、各ファイルごとに作成されます。

カタログウィンドウのサムネイルを1つマウスで選択し、レコードメニューから[情報を見る]を選択してください。ファイルに関する情報を記述したレコードウィンドウが現れます。



[A]の箇所は、ファイル自体が既に持っている情報で、カタログしたときに自動的に書き込まれます。[B]の部分(白い枠)は、ユーザが自由に記述することのできるフィールドです。

保存場所：

ファイル名称および保存場所のパスが記録されます。パスの表記は、[MacOS]と[Windows]のどちらかに切りかえることができます。

作成プログラム：

ファイルを作成したアプリケーション名が記録されます。

ファイル形式：

PICT、TIFF 等のファイル形式が記録されます。

画像モード：

カラー、グレースケール、ラインアート(白黒)のモードが記録されます。

ファイル容量：

ファイルの容量が記録されます。

解像度：

ファイルの解像度が記録されます。(単位：dpi)

作成日 / 修正日：

ファイルの作成日および修正日が記録されます。

タテ、ヨコ：

ファイルのサイズ(寸法)が記録されます。

レコード：

[修正不可][削除不可]をチェックすると、ノートやカテゴリの修正、およびレコードそのものの削除を禁止します。

登録日、修正日：

ファイル情報がカタログに登録された日付、および最後に修正した日付が記録されます。

レコード名：

元のファイル名とは別に、Cumulus 上だけで使用する名称をレコードに追加することができます。例えば、PhotoCD のように、ファイル名が連番で保存されているような場合に便利です。ここで変更した名称は、カタログウインドウのサムネイルの下に表示されますが、元のファイル名は変更されません。初期設定では、ファイル名がそのまま記載されます。

ノート：

ファイルに関するコメントを書き込みます。

ステータス：

ファイルの状態を示すステータスを指定します。

ユーザ名：

このレコードをカタログした名前を表示します。

カテゴリ：

カテゴリ名を登録します。

カテゴリ

カテゴリとは、Cumulus カタログでファイルを検索する際に、各レコードに付けておくキーワードのようなものです。Cumulus は、ファイル名だけでなく、レコードウィンドウに記録されている解像度、ファイル形式、作成日等の情報をもとに検索ができますが、これ以外にも、各レコードに適切な言葉をキーワードとして登録したり、ファイルの保存先のフォルダ名(ディレクトリ名)をカテゴリとして登録しておくことで、検索作業を効率的に行うことができます。

カテゴリの登録

Cumulus は、1つのカタログに使用するカテゴリをリストにすべて整理しておき、そこから各レコードに該当するカテゴリ名を登録していきます。

カテゴリの種類は2つあります。

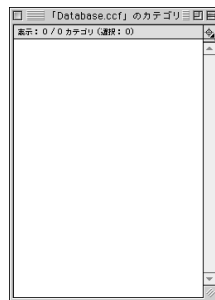
[花]、[写真]のように、ユーザが任意に登録するキーワードとしてのカテゴリ

ファイルが保存されているフォルダ名としてのカテゴリ

例えば、カタログに切手のファイルがいくつかカタログされている場合、発行した国名、年代、種類、色等をカテゴリとして各レコードに登録しておくことで、切手のファイル名だけでなく、これらのカテゴリ名を手がかりにファイルを探すことができます。

まず、キーワードとしてのカテゴリを登録する方法について説明します。

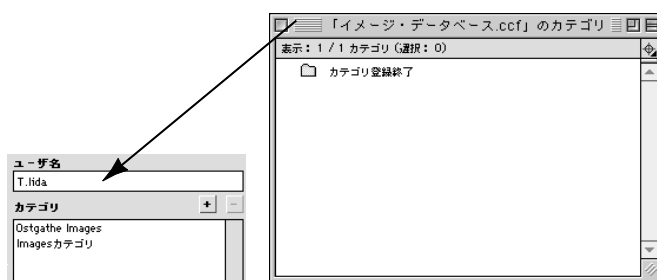
1. カテゴリメニューから[カテゴリを表示]を選んでください。カテゴリリストが表示されます。



カテゴリリスト

カテゴリリストは、カタログで使用するすべてのカテゴリを記述しておくリストで、最高1,000,000件まで記述することができます。

2. カテゴリメニューの[新規カテゴリを作成]を選んで適当な名称をタイプ入力し、リターンキーを押してください。
3. レコードに登録したいカテゴリ名をクリックして、そのままボタンを離さずに、サムネイル上またはそのレコードウインドウのカテゴリ欄までドラッグしてください。複数のカテゴリ名を登録する場合は、shiftキーを押したままカテゴリ名を選択してください。
4. カテゴリ欄の枠がグレーになったら、ボタンを離してください。



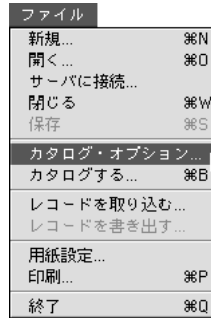
カテゴリ欄への登録

5. レコードウインドウに直接登録した場合は、ウインドウを閉じて、保存してください。

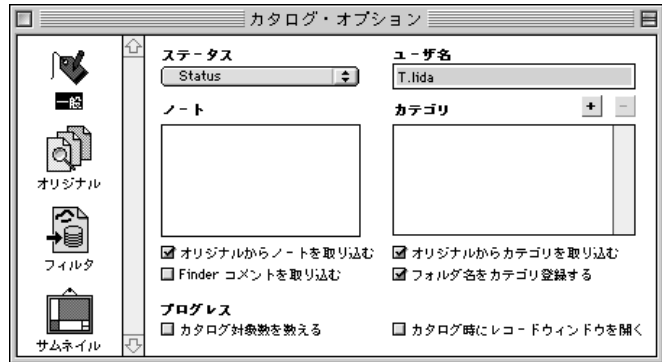
複数のレコードに同一のカテゴリ名を登録するには、サムネイルを該当するカテゴリ名までドラッグし、カテゴリ名が反転したらマウスボタンをはなしてください。

次に、フォルダ名を登録する方法を説明します。

1. ファイルメニューの[カタログ・オプション]を選び、左側のアイコンから[一般]をクリックしてください。



カタログオプションコマンド



カタログ・オプションの全般設定

2. [フォルダ名をカテゴリとして登録する]をチェックしてください。

フォルダ名をカテゴリ登録する

3. カタログしたいファイルまたはフォルダを、カタログにカタログしてください。

4. ファイルが存在するフォルダ名が自動的にカテゴリリストに登録されます。さらに、ファイルのレコードウインドウのカテゴリ欄にはフォルダ名が登録されます。



フォルダ名登録完了

フォルダ名で登録した場合、カテゴリリストには、ファイルが保存されているフォルダ名だけでなく、そのフォルダが含まれているボリューム名を階層化して表示します。

カテゴリの階層化

カテゴリリスト内に登録するカテゴリは、それぞれ項目別に階層化することができます。これを利用すると多数のカテゴリをツリー構造のグループに分け、リストを見やすくするだけでなく、検索時にも大項目(親)のカテゴリで検索すれば、それに属するカテゴリ(子)を持つデータも一度に探し出すことができます。

1. カテゴリリストにカテゴリを入力してください。
2. 子となるカテゴリをクリックして、親のカテゴリまでドラッグしてください。



階層化 1



階層化 2

3. 親のカテゴリが枠で囲まれたら、マウスボタンを離してください。カテゴリリストは図のようになります。



階層化 3

検索する

カタログが終わり、ノートやカテゴリへの登録が終わったら、次に必要なファイルの検索を行います。

Cumulusの検索は、通常は検索ウインドウを使用します。カテゴリによる検索の場合は、カテゴリリストから直接検索することができます。

検索ウインドウから検索する

1. 検索メニューから[検索]を選択してください。次のウインドウが表示されます。



検索コマンド

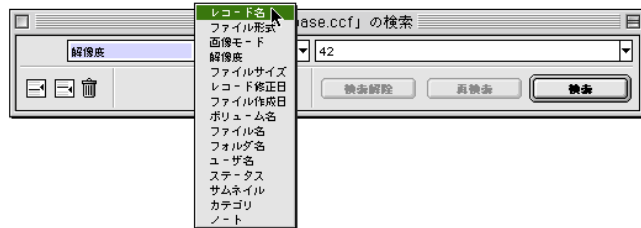


検索ウインドウ

次の15種類から検索条件を選ぶことができます。

レコード名 / ファイル形式 / 画像モード / 解像度 / ファイルサイズ / 修正日 / 作成日 / ボリューム名 / ファイル名 / フォルダ名 / ユーザ名 / ステータス / サムネイル / カテゴリ / ノート

- 検索ウィンドウの左側のボックスの矢印をクリックして、ポップアップメニューから使用する検索条件にカーソルを合わせ、マウスボタンを離してください。



項目選択

- ウインドウ中央のボックスから、該当する項目を選択してください。
- 右のボックスに必要な項目を入力するか、またはポップアップメニューから選択してください。

カテゴリで検索する場合は、カテゴリリストから任意のカテゴリをクリックし、ボックスにマウスでドラッグします。また、次項[カテゴリリストから検索する]で説明するカテゴリリストから直接検索を行うこともできます。



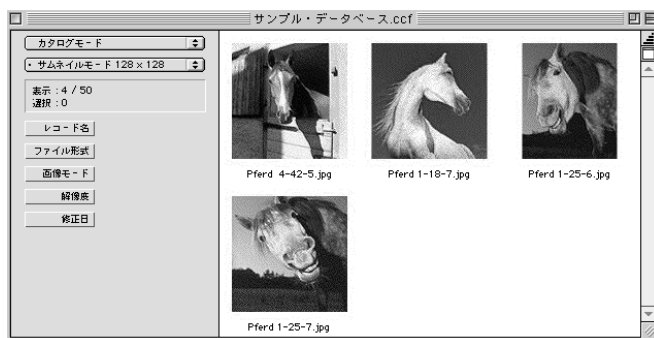
検索項目完成

- [検索]ボタンをクリックしてください。

検索条件に該当するサムネイルが表示されます。



検索結果



検索結果のサムネイル

6. 検索された中からさらに絞り込んで検索する場合は、上記の 2. ~ 4. の設定を行ってから[再検索]ボタンをクリックしてください。また、新たにすべてのレコードから検索する場合は、[検索]ボタンをクリックしてください。

カテゴリリストから検索する

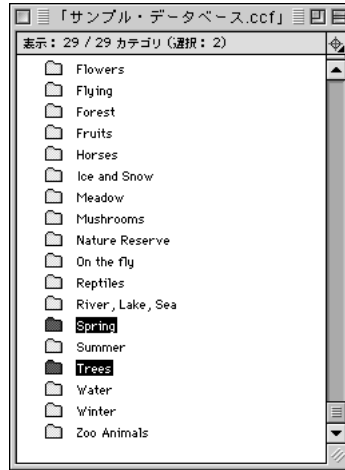
カテゴリリストに登録しているキーワードやフォルダ名で検索を行う場合は、検索ウィンドウを使用することなく、リストから直接検索することができます。

1. カテゴリメニューから[カテゴリを表示]を選択してください。カテゴリリストが表示されます。



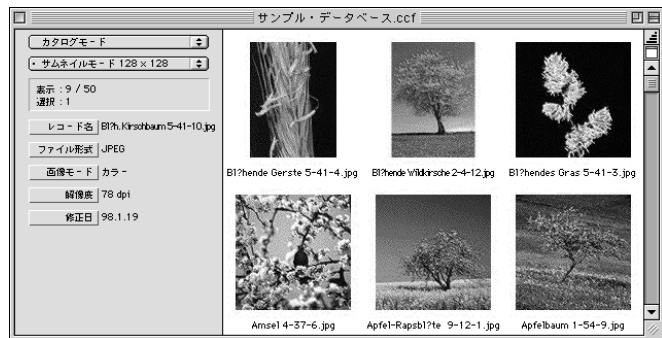
カテゴリを表示コマンド

2. 検索したいカテゴリ名を選んでダブルクリックするか、カテゴリメニューの[カテゴリで検索]を選択してください。複数のカテゴリで検索するには、コマンドキーを押したままカテゴリ名を選択してクリックしてください。



カテゴリを検索 (複数)

該当するサムネイルが表示されます。



検索結果のサムネイル

条件を組み合わせて検索する

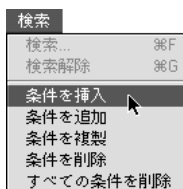
Cumulusの検索では、一度に複数の条件を[かつ]、[または]で組み合わせ検索することができます。例えば、[PICT形式]でかつ[解像度が72dpi以上]のファイルを検索したい場合、両方の条件を設定してそれらを[かつ]で連結すれば、一度の検索で該当するファイルを探し出せるのです。

複合検索の方法は次の通りです。

検索ウィンドウの場合

1. ある検索条件を設定したら、検索メニューから[条件を挿入]または[条件を追加]を選択してください。

検索ウィンドウ左下にあるボタンを選んでも同じことができます。

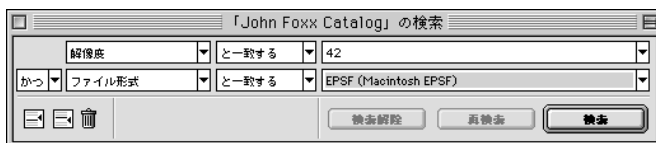


条件を挿入コマンド

[条件を挿入]は、現状の検索条件の上に新しい条件項目を追加します。

[条件を追加]は、現状の検索条件の下に新しい条件項目を追加します。

2. 左のボックスで[かつ]、[または]を選択してください。
3. [検索]または[再検索]ボタンをクリックしてください。

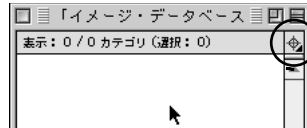


複合設定の例

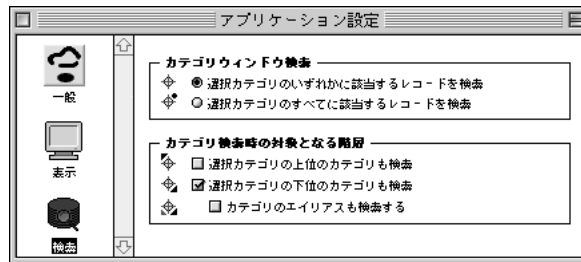
カテゴリリスト検索の場合

カテゴリリストで複数のカテゴリ名によって検索する場合、それらを[かつ]か[または]で選ぶことができます。デフォルト設定では、[または]になっています。

1. カテゴリリストの右上にあるボタンをクリックしてください。次のようなウィンドウが表示されます。

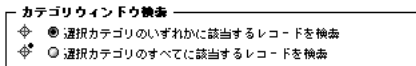


カテゴリ検索設定ボタン



カテゴリ検索設定画面

2. カテゴリウィンドウ検索から、([または]検索) ([かつ]検索) のどちらかのボタンをクリックしてください。



カテゴリウィンドウ検索

3. カテゴリウィンドウを閉じて、カテゴリリストから検索を行います。

オリジナルファイルにアクセスする

検索したファイルのオリジナルファイルにアクセスする方法を説明します。

オリジナルファイルへのアクセスとは、ファイルの起動、移動、コピー、削除等を行うことで、通常これらの操作は、Finder 上で行っていました。しかし、例えばハードディスクの別々のフォルダに存在しているファイルをMOディスクに移動をしたり、または複数のCD-ROM に入っているファイルを一度にハードディスクへコピーをする場合、ユーザは、各ファイルを1つ1つ探して移動させたり、どのCD-ROM に存在しているのかわからないファイルを探すために、ディスクを何回も入れ替えて中身をチェックしなければなりません。

Cumulus は、オリジナルのファイルがどのボリュームのどのフォルダ(ディレクトリ)に存在しているかを記録しているので、カタログ上で選んだ複数のサムネイルからディスク内のオリジナルのファイルを探して、一度に同じ操作を行うことができます。

Cumulus から行うオリジナルファイルの操作は次の通りです。

ファイルを開く

オリジナルファイルを作成アプリケーションで開きます。

ファイルの印刷

オリジナルファイルを開いて、それを作成したアプリケーションから印刷をします。

ファイルの検索

オリジナルファイルを Finder に表示します。

ファイルのコピー

オリジナルファイルを、指定した場所にコピーします。

ファイルの移動

オリジナルファイルを、指定した場所に移動します。

プレビュー

オリジナルファイルを Cumulus 上で表示します。

オリジナルファイルを操作するコマンドは、レコードメニューにあります。

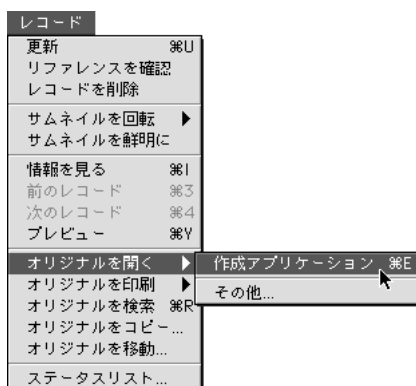


レコードメニュー

オリジナルの編集 / 印刷

Cumulusから特定のファイルを起動したり、ファイルを作成アプリケーションから印刷します。また、作成アプリケーションではなく、別のアプリケーションをファイルを選んで起動 / 印刷することもできます。

1. カタログから、起動または印刷したいファイルのサムネイルをクリックして選択してください。複数のサムネイルを選択するには、コマンドキーを押したままクリックしてください。
2. レコードメニューから[オリジナルを開く]または[オリジナルを印刷]を選択してください。サブメニューにアプリケーション名が表示されるのでそれを選択するか、または[その他]を選んで他のアプリケーションを選択することもできます。



オリジナルを開くコマンド

3. ファイルが開きます。[オリジナルを印刷]を選んだ場合は、アプリケーションの起動後、印刷のダイアログが表示されます。設定を行って印刷が完了したら、自動的にアプリケーションは終了し、Cumulusの画面に戻ります。

オリジナルの検索

サムネイルを選択して[オリジナルを検索]を実行すると、オリジナルファイルのあるフォルダを Finder 上に表示します。もし、オリジナルファイルが MO ディスクや CD-ROM に保存されている場合は、Finder が必要なディスク名を表示し、ディスクをドライブにマウントするように指示します。



オリジナルのコピー

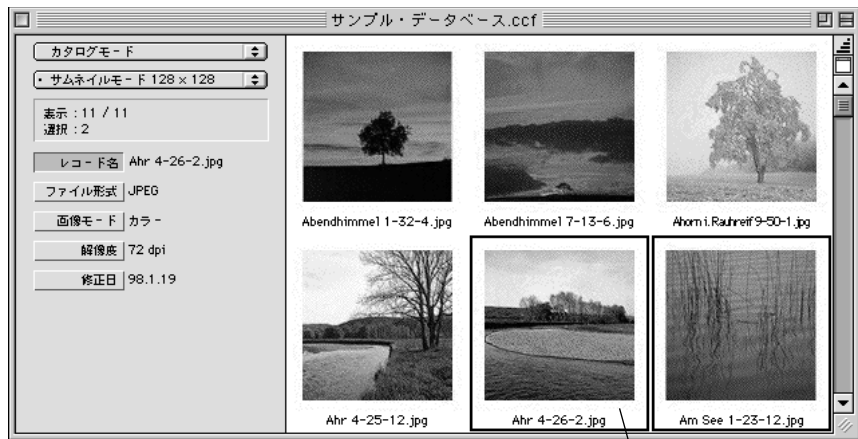
オリジナルファイルのコピーには、次の2通りがあります。

サムネイルを選択した後、レコードメニューから[オリジナルをコピー]を選択し、保存先を指定する。



オリジナルをコピーコマンド

カタログウィンドウからサムネイルを選び、コピー先にマウスでドラッグする。



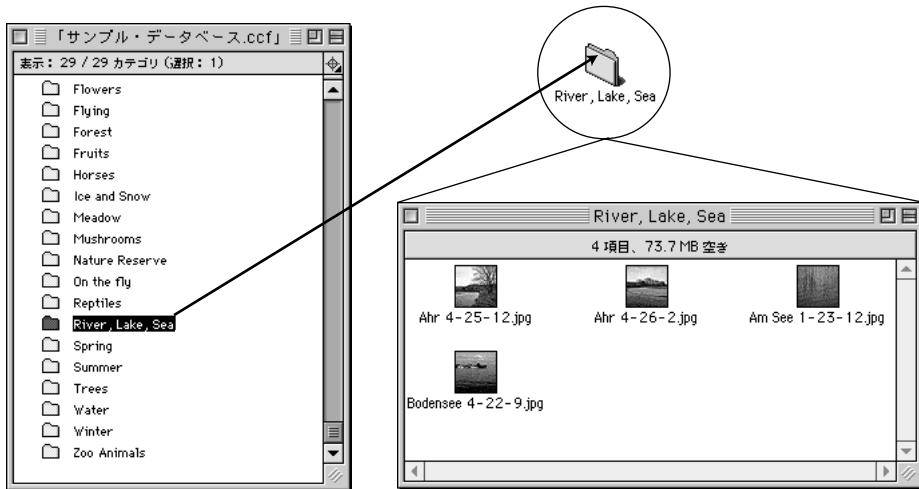
サムネイルからコピー

カテゴリリストからオリジナルをコピーする

ドラッグ&ドロップによるファイルのコピーは、Finder のバージョンが 7.1.2 以降で Apple の Drag&Drop 機能拡張ファイルがインストールされている必要があります。なお、漢字 Talk7.5 以上のシステムの場合は標準でインストールされるので必要ありません。

同じカテゴリ名をもつファイルをまとめてコピーする場合、カテゴリリストから直接実行できます。

1. カテゴリメニューから[カテゴリを表示]を選択してください。
2. 適当なカテゴリ名を選んで、コピー先にドラッグしてください。
3. そのカテゴリ名のフォルダが作成され、該当するファイルが中にコピーされます。



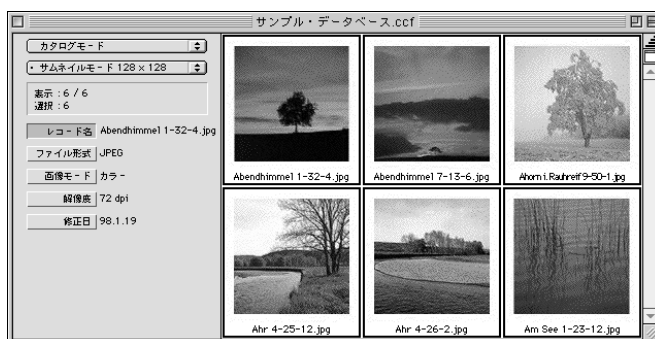
カテゴリからコピー

オリジナルの移動

1. オリジナルファイルを別の場所に移動します。サムネイルを選択してから[オリジナルを移動]を選んでください。

保存ダイアログが表示されます。

2. 移動先を設定し、[保存]をクリックしてください。複数のサムネイルを選択した場合は、[全てを保存]をクリックしてください。



移動サムネイル選択



オリジナルを移動コマンド

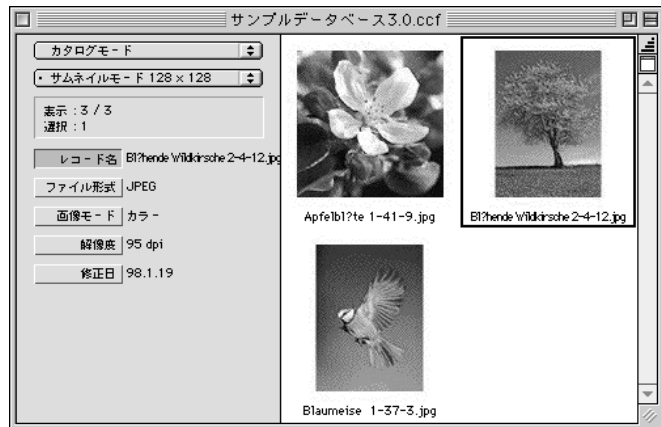
Cumulus からオリジナルファイルを移動した場合、レコードウインドウにある保存場所のパスが、自動的に新しい保存場所に変更されます。

プレビュー

プレビューは、オリジナルのファイルをCumulus上で表示するための機能です。カタログ内のサムネイルは、あくまでもファイルを視覚的に認識するためだけのもので、ディテールの細かい画像や設計図、地図または動画等のファイルの場合、サムネイルだけでは目的のファイルか否かを判断するのが困難です。しかし、ファイルを確認するためだけに作成アプリケーションを起動しては、時間もメモリも多く必要になってしまいます。

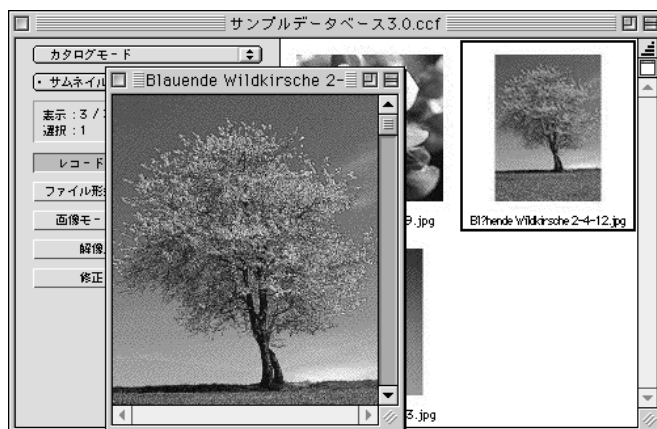
プレビューを使用すると、ファイルを一時的にCumulus上に開いて内容を確認する事ができます。これは、作成アプリケーションがなくても（または起動していなくても）ファイルとCumulusだけで実行できます。また、動画や音声ファイルの場合は、実際にムービーを動かしたり、音声を聞いたりすることもできます。

1. サムネイルを選択してダブルクリックするか、またはレコードメニューの[プレビュー]を選んでください。



サムネイルをダブルクリック

プレビュー画面が開きます。



2. 画面を拡大 / 縮小するには、編集メニューの[拡大表示][縮小表示]を選択してください。最大 800% から 12.5% までの拡大 / 縮小が可能です。



拡大表示コマンド

他のアプリケーションとの連携

Cumulusは、特定のアプリケーションに対応したプラグインがあります。プラグインを使用することで、他のアプリケーションからCumulusを呼び出し、必要なファイルを選んで読み込むことができます。

通常のアプリケーションでは、[開く]または[割り付け]るファイルを選ぶ場合、ダイアログボックスからファイル名を頼りに探すのですが、ファイル名や保存場所がはっきりとわからない場合、見つけるのに非常に時間がかかります。ここで、Cumulusのプラグイン機能を使用すれば、アプリケーションからCumulusを呼び出し、目的のファイルをCumulusカタログから探して、他のアプリケーションに読み込むことができます。Cumulusでは、MO や CD-ROM 等のオフラインメディア、またはネットワーク上にある別のコンピュータ(Network/XP 版のみ)のファイルも管理できるので、広い範囲から必要なファイルを探し出すことができます。

Cumulusには、次に示すアプリケーションのプラグインがあります。

FrameMaker/FrameBuilder

FreeHand 5.5

Graphisoft 5.0

Illustrator 5.5

IsoDraw

MiniCad 5、6

Object ZOOM

PageMaker 4.2 以降

Photoshop 2.0 以降

QuarkXPress 3.1 以降

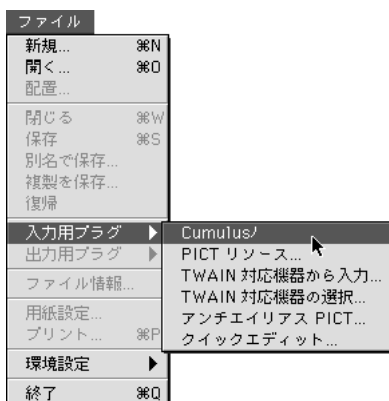
RagTime

プラグインの使用例

ここでは、Adobe 社の Photoshop 4.0-J を例に説明します。他のアプリケーションで使用する場合も、ほぼ同じ方法で実行できますが、アプリケーションによって[Cumulus]コマンドが現れる場所が異なるのでご注意ください。

プラグインのインストール方法および使用方法については、[ドキュメント]フォルダの[アダプタについて]にある各書類をお読みください。

1. Photoshopのファイルメニューから[入力用プラグ]を選択し、サブメニューの中の[Cumulus]を選択してください。



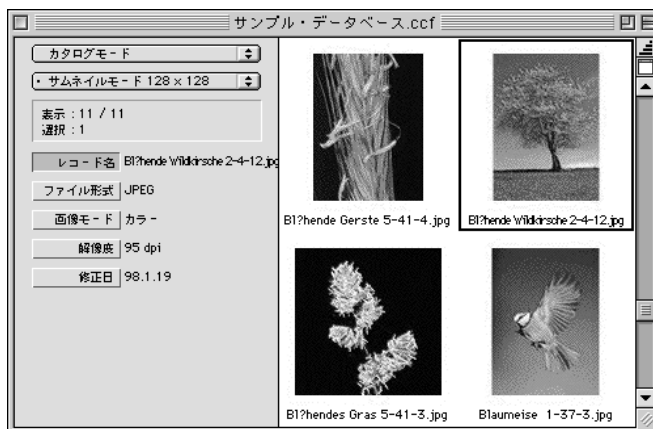
Photoshop ファイルメニュー

アクティブ画面がCumulusに切り替わります。また、Cumulusが起動していない場合は、Cumulusが起動します。



呼び出しパレット

- Cumulus から必要なレコードを検索して選択し、パレットの[OK]をクリックしてください。



サムネイル選択

- アクティブ画面がPhotoshopに戻り、Cumulusで選択したサムネイルのオリジナルファイルがPhotoshopに渡されて開きます。

Quark XPressまたはIsoDrawをご使用の方でドラッグ&ドロップ機能がインストールされているMacintoshの場合は、Cumulusのサムネイルを選んで各アプリケーションの書類上にドラッグするだけで、ファイルの割り付けができます。この場合、複数ファイルの割り付けも可能です。

用語集

用語集

この用語集では、このマニュアルで使用されている用語をアルファベット順に説明しています。

*.cce

Cumulus カテゴリファイルの項参照。

*.ccf

Cumulus カタログファイルの項参照。

*.cqe

Cumulus 検索クエリファイルの項参照。

*.cre

Cumulus レコードファイルの項参照。

[アプリケーション設定] ウィンドウ

一般的なプログラムの動作を変更および設定することができるウィンドウ。

アプリケーションプログラミングインタフェース (API)

プログラミングの動作を変更するための遠隔制御。プログラムの機能を拡張する追加プログラム。

ファイル

プロジェクトで使用されるすべての種類のデジタルファイル (グラフィック、ページレイアウト、プレゼンテーション、サウンド、ビデオなどのファイル) を示す一般用語。デジタルファイルの項も参照。

論理演算

真または偽の値に基づく論理システム。Cumulus では、論理演算子の "and" および "or" を使用して、検索条件を結合します。

ブラウザ

Cumulus Browser。

カタログ

カタログしたファイルを管理するために Cumulus が作成する、.ccf という拡張子のファイル。ファイルの項および Cumulus カタログファイルの項も参照。

カタログする

ファイルをカタログにする実際の操作。ファイルの項も参照。

[カタログオプション] ダイアログボックス

Cumulus がファイルをカタログする方法を指定するための特別なダイアログボックス。

カタログウィンドウ

カタログ時に中心的なユーザインタフェースとして機能する2つの部分 (カテゴリリストウィンドウとカタログウィンドウ) で構成されるウィンドウ。カテゴリリストウィンドウの項およびカタログウィンドウの項も参照。

カテゴリ

Cumulus のカタログを整理する際の土台として機能します。

カテゴリファイル

Cumulus カテゴリファイルの項参照。

カテゴリリストウィンドウ

カタログウィンドウの左側にある部分。カテゴリは、Cumulus のカタログを整理する際の土台として機能します。

クライアント

サーバアプリケーション (Cumulus サーバなど) にネットワーク経由でアクセスするユーザ。

クライアント / サーバアーキテクチャ

ユーザ (クライアントともいいます) がネットワーク経由でサーバアプリケーションにアクセスするソフトウェア構成。

複合検索

複数の検索条件で構成される検索クエリ。

Cumulus の管理者

Cumulus のカタログの設定・管理担当者。管理者は、Cumulus クライアントがカタログを円滑に実行できるように管理します。また、カタログのバックアップなどの作業を行います。

Cumulus アプリケーションウィンドウ

すべてのプログラムコマンドおよびオプションと、ファイルのカタログ、カテゴリ設定、管理を行うために必要な「子」ウィンドウが含まれる、Cumulus のメインウィンドウ。

Cumulus Browser

Cumulus Browser は、使用料が無料のアプリケーションです。これを使用して、CD-ROM やリムーバブルメディア (Syquest、Jaz、Zip、MO などのカートリッジ) によりカタログを配布することができます。

Cumulus カタログファイル

カタログしたデジタルファイル (ファイル) を管理するために Cumulus が使用する、拡張子が .ccf の特別なファイル。

Cumulus カテゴリファイル

カテゴリ情報を書き出す際に Cumulus が使用する、拡張子が .cce の特別なファイル。

CIMS

オリジナルファイルをインターネット上で公開・配布するために設計された、CGI (コモンゲートウェイインタフェース) アプリケーション。

Cumulus Network

クライアント / サーバ環境でデジタルファイルを整理・管理するのに不可欠な、メディア管理システム。デジタルファイルの項およびクライアント / サーバアーキテクチャの項も参照。

『Cumulus Network 管理者マニュアル』

このユーザガイドとともに使用する、Cumulusの管理者による操作および役割を説明したマニュアル。

Cumulus 検索クエリファイル

保存した検索クエリ情報を書き出す際に Cumulus が作成する、拡張子が .cqe のファイル。

Cumulus レコードファイル

レコード情報を書き出す際に Cumulus が作成する、拡張子が .cre のファイル。

Cumulus サーバ

Cumulusサーバソフトウェアがインストールされていて、Cumulus のカタログを保存するためのコンピュータ。

[詳細] ウィンドウ

ユーザがカーソルをサムネイル上に移動したときに表示される小さなウィンドウ (レコード名、ファイル形式、画像モード、解像度、修正日を示します)。カタログウィンドウの項およびサムネイルの項も参照。

デジタルファイル

プロジェクトで使用される電子ファイル(グラフィック、ページレイアウト、プレゼンテーション、サウンド、ビデオファイルなど)。

ドラッグ & ドロップ

マウスでドラッグして対象にドロップすることで、ユーザーインターフェースのオブジェクトを移動する方法。

ファイルフィルタ

カタログ時に、ファイルに関する情報を取得するためにCumulusが使用するソフトウェアユーティリティ。入手可能な最新のファイルフィルタの情報は、CantoのWebサイト(<http://www.canto-software.com>)を参照してください。

ファイルリファレンス

Cumulusのカタログで管理しているファイルの実際の場所を追跡するための仕組み。

検索ツールバー

検索条件に一致するレコードをカタログで検索することができるCumulusのツール。

ギガバイト (GB)

電子記憶装置の容量の単位。1 GBは、1,024メガバイトまたは約10.8兆バイトになります。Cumulusのカタログファイルの大きさは、最大で2 GBです。

Cumulus Internet Media Server

CIMSの項参照。

キロバイト (KB)

電子記憶装置の容量の単位。1 KBは、1,024バイトになります。

メディアファイル

プロジェクトで使用される電子ファイルまたはデジタルファイル（グラフィック、ページレイアウト、プレゼンテーション、サウンド、ビデオファイルなど）。デジタルファイルの項も参照。

メガバイト（MB）

電子記憶装置の容量の単位。1 MBは、1,024 キロバイトまたは 1,048,576 バイトになります。

メニューバー

Cumulus のアプリケーションウィンドウの上部に表示されます。メニューバーには、すべてのプログラムコマンドを含むメニューが表示されます。

パス / パス名

コンピュータのハードディスクドライブまたはリムーバブルメディア（CD-ROM や、Syquest、Zip、Jaz、MO などのカートリッジ）に保存されているファイルの場所を表します。

ポップアップメニュー

カーソルをオブジェクト上に移動して右マウスボタンをクリックすると表示されるショートカットメニュー。

プレビュー

ビデオクリップ、サウンドファイル、イメージファイルなどの、カタログしたファイルを調べることができる特別なプログラムモード。

検索ツールバー

検索クエリを再利用できるように保存します。

検索クエリファイル

Cumulus 検索クエリファイルの項参照。

レコード

ファイルをカタログに追加した際にCumulusが作成するカタログのエントリ。レコードには、ファイル名、ファイルの場所、ファイル形式、解像度など、ファイルに関する検索可能な重要情報が保存されています。

レコードファイル

Cumulus レコードファイルの項参照。

レコードウィンドウ

カタログウィンドウの右側にある部分。レコードウィンドウには、レコードがサムネイルまたはテキストとして表示されます。レコードの項およびサムネイルの項も参照。

[レコードプロパティ] ウィンドウ

カタログしたファイルに関する重要なレコード情報を表示する特別なウィンドウ。レコードの項も参照。

解像度

すべてのグラフィックファイル形式での、1インチあたりのピクセル数。ファイルの解像度が高いほど、1インチあたりのピクセル数も多くなります。通常は、ファイルの解像度が高いほど、作業に必要なメモリおよびハードディスクの容量も大きくなります。

スクリプト

MacintoshまたはMacintoshに互換性のあるコンピュータで実行される、命令のリスト。Cumulusでは、スクリプトを使用して、複雑な作業を自動的に行います。

簡易検索

1つの検索条件で構成される検索クエリ。

ステータス

特定のファイルの状態を説明するためにユーザが登録する状態。

ステータスバー

ツールボタンの説明、[アプリケーション設定]ウィンドウへのアクセス、カテゴリ/レコードのステータスを表示する、Cumulus アプリケーションウィンドウの下部にあるバー。

サムネイル

カタログウィンドウおよび[レコードプロパティ]ウィンドウで表示される、カタログしたファイルの縮小表示。

ツールバー

よく使用するコマンドをすばやく使用するためのボタンを提供する、標準のプログラムツール。

ツールチップ

カーソルをツールバーのボタンの上に移動すると表示される、ボタンを説明する小さなフローティングウィンドウ。